

くらしのニュース7月号

2022年（令和4年） NO. 493 令和4年6月23日発行
発行／苫小牧市市民生活部市民生活課 ☎32-6306（直通）

チョットの工夫で、家計にも環境にも！！

電気代も値上げです！！

原油価格の上昇により、石油製品の値上りや高値が継続している中で、電気料金もジワジワと上がってきています。

発電には、原油、海外炭が使用されることから購入費や輸送費コストなどの増加が主な要因と考えられます。

これから夏を迎え電気の使用量が増えてくることが予想されることから、これ以上の値上げにならないことを望みます。

下記の表は、ほくでんホームページより参照



＜2022年5月分～6月分料金の内訳＞

	基本料金＋電力量料金	燃料費調整	料金小計	再生可能エネルギー発電促進賦課金	料金合計
6月分	7,228円	443円	7,671円	793円	8,464円
5月分	7,228円	358円	7,586円	793円	8,379円
差引	0円	+85円	+85円	0円	+85円

算定モデル（従量電灯B、30A、230kWh／月

- ・消費税等相当額を含みます。
- ・再生可能エネルギー発電促進賦課金（従量制供給の場合）は3円45銭／kWhです。

できる範囲で！！

お金をかけずに、いまからできる節電を一つでも実践してみましょう。ただし、節電に取り組む際には、意識しすぎるあまりに体調を崩したり、事故を起こしたりすることのないように、くれぐれも注意してください。



- ①テレビは、省エネモードに
- ②冷蔵庫の設定を「強」から「中」に
- ③炊飯器、電気ポットなど、使用してない時はコンセントを抜く
- ④不要な照明は、出来るだけ消す

暑さ、寒さは窓からやってくる？

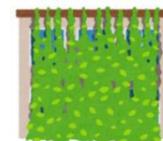


室内に熱が入ってくるのも、冬に暖房の熱が逃げていくのも、その大半は「窓」からといわれています。近年は、道内でも30度を超える日が多くなってきています。暑さ対策と合わせて環境問題にも取り組んでみませんか。

夏は、窓の遮熱



断熱性能が高い住宅ほど、いったん室内に熱が入ると、それを室外に排出するのが困難だといわれています。そこで、窓から直射日光が入らないようにしましょう。住宅の外側で遮熱する方が、内側で行うよりも遮熱効果は高くなります。



緑のカーテン

ヘチマやゴーヤ、朝顔など、つる性の植物をベランダや庭で育てて窓からの直射日光を遮熱してみてもはどうでしょうか。夏の日差しをやわらげるだけでなく、葉の水分蒸散作用で涼しさも得られます。実を収穫する楽しみにもなります。（水分蒸散作用とは、植物体内の水が水蒸気として空気中に排出される現象で、根から吸収された水は、一部の組織を経て、主に葉から蒸散されます。）



いろいろな工夫

窓に「すだれ」や「よしず」をかけたたり、日よけ（シェード）を設置して直射日光を防げば、室内の熱の侵入を減らすことができ、室温の上昇を抑えることができます。また、窓の上にオーニングを取り付ければ、日差しをさえぎりながら、涼しい風を取り込むこともできます。

室内温度を下げるよりも、室内温度を上げない、ちょっとした工夫をすることで、電気代の節約や環境問題（気候変動対策）にも取り組んだこととなります。ご家庭でできる「CO2」排出削減になります。